

備前市事務事業評価表

事務事業名	下水道財政管理運営事務		コード	担当課係	下水道課業務係
			01-01-10-14	担当者	奥寺 秀司
事業実施期間			電話	66-9701	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	下水道			
	施策	健全財政の維持			

事業について	
目的	下水道施設の適正な管理と計画的な施設整備促進のため、効率的な財政管理を行い、下水道事業の健全な財政運営を図る。
対象（誰のために）	下水道使用者及び庁内関係部署
内容	予算決算関係事務、下水道事業債管理事務、財政計画作成等審議会の運営

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
予算編成	5 回		
財政計画等作成	3 件		
地方債借入	10 件		
下水道審議会	2 回		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	461	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	7,225	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	7,686	一般財源等	7,686	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.85	人		
結果指標名	予算編成			
結果指標量	5			
単位	回			
対前年比	—			
事業費	1,405,000	円		
単当たりコスト①	281,000	円		
結果指標名	地方債借入			
結果指標量	10			
単位	件			
対前年比	—			
事業費	2,020,000	円		
単当たりコスト②	202,000	円		

事業の成果			
成果指標名	使用料回収率	式又は説明	使用料単価/汚水処理原価（資本費含む）*100
成果指標量	17年度		
	34.4		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	70.0	到達目標年度	平成30年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	下水道事業経営の独立採算制の原則に基づき、継続的な増収、経費節減への取り組みと長期的視野に立った整備計画、地方債管理等により下水道財政の健全化に努めていく必要がある。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	
目標値	結果指標量② 40.0

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	使用料の改定	H19	使用料回収率の向上
効率性	各分室等との事務事業体制の見直し	H18~	コスト削減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

課題認識
下水道事業は独立採算による経営が原則であるが、多額の繰入金を受けており、市財政圧迫の要因となっている。適正な受益者負担とともに、徹底したコスト削減により、健全財政の運営に努めなければならない。

地方債借入事務が財政課から移管されたこと、合併による地方債管理や予算編成の複雑化等により事務量が増加しており、さらなる事務の改善、効率化が必要である。

下水道審議会において使用料改定を検討しており、管理費、整備費のコスト削減とあわせて成果向上に努める。